

予算決算委員会会議記録

1. 日 時	令和4年2月16日（水）9：27～11：07
2. 場 所	議員協議会室
3. 出席議員	園田依子（オンライン参加）安井博幸、原田豊彦、前田えり子、上田英樹、隅田雅春、足立義則、向井千尋、大西基雄、栗山泰三、渡辺拓道、河南克典、大上和則、小島政行、森本富夫
4. 欠席議員	なし
9. 協議事項	<p>議案第12号 令和3年度丹波篠山市一般会計補正予算（第18号）</p> <p>議案第13号 令和3年度丹波篠山市国民健康保険特別会計補正予算（第5号）</p> <p>議案第14号 令和3年度丹波篠山市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）</p> <p>議案第15号 令和3年度丹波篠山市介護保険特別会計補正予算（第3号）</p> <p>議案第16号 令和3年度丹波篠山市水道事業会計補正予算（第3号）</p> <p>議案第17号 令和3年度丹波篠山市下水道事業会計補正予算（第3号）</p>
10. 議事の経過	<p>安井副委員長 挨拶</p> <p>安井副委員長 開議宣告</p> <p>9：27 開議</p> <p><b>総務文教分科会座長報告</b></p> <p>■議案第12号 令和3年度丹波篠山市一般会計補正予算（第18号）</p> <p>渡辺座長より報告（別添参照）後、質疑応答。</p> <p style="text-align: center;">＜主な質疑応答等＞</p> <p style="text-align: center;">なし</p> <p><b>民生福祉分科会座長報告</b></p> <p>■議案第12号 令和3年度丹波篠山市一般会計補正予算（第18号）</p> <p>■議案第13号 令和3年度丹波篠山市国民健康保険特別会計補正予算（第5号）</p> <p>■議案第14号 令和3年度丹波篠山市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）</p>

**■議案第15号 令和3年度丹波篠山市介護保険特別会計補正予算（第3号）**

向井座長より報告（別添参照）後、質疑応答。

隅田委員

消防本部の残業の時間の議論のところで、職員不足が判明して非常に心配しているのですが、今年度で3名の方が退職されると。来年度5名の新規職員を採用するといっても、5名は消防学校に行つて実際の勤務は難しいと思います。今年度、これだけシフトでいろいろとやりくりされておる中で、来年度は新人職員と、さらに3名が退職されていないということで、審査終了後、分科会の中で消防本部の職員体制をどう補充するのか。例えば退職される方を再任用で、現場に補充をしてもらうとか、そういったふうな議論等はなかったのでしょうか。

向井座長

分科会の中では、委員から同様の質問が出されまして、消防から詳しく回答いただいております。条例上、消防本部の定数は66名で、現在の職員数については63名ですけれども、そのうち1名を航空隊に派遣しておりますので62名で丹波篠山市を警備している状況です。今までは定数からは2名減の64名での警備を基本していましたが、今年度については、前年度末に急遽の退職者が2名あり、さらに2名減という非常に厳しい状況です。令和4年度に消防長を含め3名が退職しますので、令和4年度の採用については、3名のところ5名の採用が決まっています。ですので、今年度と来年度については非常に手薄になって、なかなか厳しい状況ですが、その次の令和5年度からは64名で警備ができると考えております。今までの慣例として64名体制としていますが、非常招集のことを考えると、条例定数の66名になれば、もう少し非常招集の回数も減らせますので、その辺はどうか出来たらと思っているところです、ということでした。その後、委員からは、議会としてもそのような消防本部の状況について共有していきたいと思うというような議論をしております。

隅田委員

私は大変、危機感を感じますので、市長に申入れや市長総括するなりして、退職者の再任用で欠員をカバーする体制を検討しないと、来年はさらに大変なことになるのではないかという気がしますので、意見だけ申し上げます

<主な質疑応答等>

**産業建設分科会座長報告**

**■議案第12号 令和3年度丹波篠山市一般会計補正予算（第18号）**

**■議案第16号 令和3年度丹波篠山市水道事業会計補正予算（第3号）**

**■議案第17号 令和3年度丹波篠山市下水道事業会計補正予算（第3号）**

栗山座長より報告（別添参照）後、質疑応答。

＜主な質疑応答等＞

隅田委員 景観形成事業の屋外広告物改修等補助金280万円減額とのことですが、令和3年度に条例改正をしたことによる不適格となった箇所は何ヶ所あるということは、提示されているのでしょうか。

栗山座長 屋外広告物の件につきまして、箇所数についての提示はありませんでした。

隅田委員 この令和3年度に条例を改正される際に、不適格な屋外広告物がどれだけあるという資料提供はなかったのでしょうか。また、委員は、不適格な物件がどこにあるかという認識はされていないのでしょうか。

栗山座長 約80㎡ある屋上看板が不適格な物件であるとの説明は受けましたが、その他市内の不適格看板についての具体的な提示はありませんでした。

**議員間討議**

安井副委員長 討論表決に入る前に、全体を通して何か御意見はありませんか。異議がある場合、市長に確認しておきたい事項がありましたら、あげていただきたいと思います。何か御意見はありませんか

隅田委員 先ほど消防署員数のことを言わせていただきましたが、今年でこれだけやりくりしている中で、来年も厳しくなるということで、市長なり消防長が考えておられるのか聞いていただきたいと思います。

安井副委員長 今隅田委員から提言がありました件に関しまして、皆さんの御意見をお伺いしたいと思います。

足立委員 隅田委員おっしゃるように、当初予算の審査に時期的に入っています。また、お産応援119等の対応もしており、業務的にも消防署の担う役割も増加しているという気もしますので、令和4年度を迎えるにあたって、市長と消防本部との連携等々も含めて、委員長から総括質疑をしていただきたらと思うのですけど。

安井副委員長 委員長から総括質疑をしたらどうかという意見が出ておりますが、ほかの委員の方いかがでしょうか。

渡辺委員 隅田委員の話については、消防の時間外の部分が気になり、その状況を聞かせていただいていたのですけども、足立委員からも、来年度の体制をどうするかという審査期間に入っておりますので、まず委員

長のほうから総括質問をしていただいて、予算審査の際にはある程度の方向性はきっちり示していただいた上で、予算審査をしていかないと審査出来ませんので、総括の中で考え方が今日出ればいいですけども、なかなかすぐ出ないということでしたら予算までには必ず方向性を出すという部分だけは抑えてほしいと思いますので、私も質問していただくことは賛成です。

安井副委員長 渡辺委員からは、委員長から質問するというので、賛成の意見が出ましたが、ほかに御意見ございませんか。

向井委員 反対ではないのですけれども、委員会の中でこのような議論をしたということだけは報告させていただきます。先ほども、委員長報告の中で、報告させてもらったとおりなのですが、条例上定数66名のところ今年度は62名でしている。来年度については5名の採用が決まっているけれども、条例上の定数66人までいかない状況ということは問題があるかとは思っていますし、消防本部のほうもそれは認識されていると思います。今回すごく時間外が増えているというのが、建物火災が多かったという少し特殊な年だったということもあるのかなというのがありますし、職員の勤務について過剰な時間外になっているということで大丈夫なのかというような質疑も委員会の中で出たのですけれども、消防本部の回答では、労基法上は問題ない、出てもひと月に4時間か6時間ぐらいで許容範囲というように思っているというような回答もいただいているということ、一応報告させていただきます。

安井副委員長 他に御意見ございませんか。

栗山委員 3名の方が退職されるということなので、令和4年度については大変厳しい状態になるのではないかと、また、今新型コロナウイルス感染症の関係で、出勤もあり危険というか招集が多いのではないかとと思うので、市長に質問して対応を検討すべきじゃないかと思えます。

安井副委員長 他に御意見ございませんか。では委員長から市長に質問するという方向にしたいと思えますけれども、それについて御異議がないかお尋ねしたいと思えますがいかがでしょうか。

— 異議なし（オンライン委員も含む） —

安井副委員長 消防本部の人員の確保について今後どのように進めていくかということにつきまして、討論、採決の前に副委員長から市長に対し質問を行いと思えますけれども、よろしいでしょうか。

異議なし

足立委員 今向井委員長が言われたとおり、条例定数より少ないまま慢性化し

ていることについては疑問があるという件は、必ず入れていただいて、質問していただきますようお願いしときます。

休憩 (10:20~11:00)

### その他(市長総括)

安井副委員長 それでは、市長に総括的な質問をいたします。今回は、消防本部の職員体制についてですけども、令和3年度は現職員63名の体制で市内を警備されています。条例上の定数は66名ですが、64名体制が常態化しており、定数不足は慢性化しています。今後の消防本部の職員体制について、どのように考えておられるのか、市長の考えをお聞かせください。

酒井市長 御質問いただきました消防本部の職員体制について、お答えをさせていただきますと思います。令和3年度は、山内町の大きな火災を初め建物火災の件数が多く、消防本部職員には時間外手当が今回発生しておりますけれども、時間外に市民のために大変活躍をしてくれているところです。消防本部の体制は、これまでから限られた人員の中で、できるだけ頑張ってもらいたいようにしていただいております。現在63名の体制となっております。その年度に退職する者がおりますので、それを見込んで、次の年までに採用を先にしていくといったことを心がけているところであり、本年4月には、新たに5名の職員を消防本部に採用しますので、これで68名の体制をとることが出来ます。今後ともですね、限られた予算をどのように使うか、人員をどのようにするかといった大きな課題の中、消防本部の職員体制づくりに努めていきたいというように考えています。

安井副委員長 これをもって、市長に対する質疑を終わります。

### 討論・表決

- 議案第12号 令和3年度丹波篠山市一般会計補正予算(第18号)
- 議案第13号 令和3年度丹波篠山市国民健康保険特別会計補正予算(第5号)
- 議案第14号 令和3年度丹波篠山市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)
- 議案第15号 令和3年度丹波篠山市介護保険特別会計補正予算(第3号)
- 議案第16号 令和3年度丹波篠山市水道事業会計補正予算(第3号)
- 議案第17号 令和3年度丹波篠山市下水道事業会計補正予算(第3号)

— 討論なし、全員賛成(オンライン) —

安井副委員長 委員会の審査報告については、委員長、副委員長にご一任願いたいと思いますが、御異議ありませんか。

— 異議なし —

安井副委員長 本日の会議は会議記録については、事務局に調製させ、委員長、副委員長において内容確認を行いたいと思います。ご一任願いたいと思いますが、御異議ありませんか。

— 異議なし —

安井副委員長 挨拶  
散会宣告

11:07 散会